



北浦小だより

Hop Step Jump

第 2 号

令和3年4月12日 ホップ・ステップ・ジャンプ

(HP) <http://www2.sopia.or.jp/kitaurael/>

文責:校長 武田 民弥

令和3年度 学校重点目標

「ひとはだめごう北浦小 **ネクスト NEXT**」



今年度の北浦小の児童・教師の合言葉は「ひとはだめごう北浦小 **ネクスト (ネクスト)**」です。スローガン「ひとはだめぐ」は今年度が3年目となります。私自身本校2年間の学校経営を通して、多くの場面で児童・先生方へはもとより、保護者・地域の皆様にも「ひとはだめぐ」を伝え、他の人や学校・地域のために進んで働き、汗をかくことができる児童・教職員さらには、本校教育を理解し、協力してくださる保護者・地域の方が増えてきたと思っています。

今年度は本校統合6年目となり、全員が本校に入学した児童となりました。そこで、次のステージにレベルアップしていきたいという思いを「NEXT」に込めました。だからと言って、目指す児童の姿は変わりません。右の3つです。これらの行動を児童一人一人がしっかりとできるようにしていきたいと考えています。キーワードは、「**進んで**」です。つまり、「**進**

- 自ら判断し、**進んで**行動できる児童の育成
- 誰にでも、**進んで**あいさつができる児童の育成
- 「ちょボラ活動」に**進んで**取り組む心豊かな児童の育成



んで〇〇に取り組めること」こそが、レベルアップすることです。児童も、教職員も、そして保護者の皆様も、進んで児童・友達・学校のために取り組めれば、これまで以上に成長できるはずで。北浦小学校の新たな一歩を踏み出せるように、進んで何事にも取り組める北浦小児童を育てていきたいと思ひます。御理解・御協力をお願いいたします。

「学校」は、自分のよさを見つけ・伸ばすところ

学校長 武田 民弥



令和3年度がスタートしました。児童も新しい学年になり、新しい学級や担任の先生に少しずつ慣れようとしています。私は、『学校』とは、「子どもたちに自信をつけさせる場」であると考えています。様々な教育活動を通し、児童一人一人が自分の『よさ』に気が付き、その『よさ』を伸ばしていくことで、自分に自信が付き、生きていく上で身に付けなければならない力、いわゆる『生きる力』が付いてくるのだと思ひます。

本校教育を進める上で、先生方をお願いしているのが「認め・見守り・導く」です。北浦小学校の**教育の根幹**です。「認め」は、児童一人一人のよさや可能性を見つけ、認めることです。「見守る」は、練習の時は児童にしっかりと役割を果たせるように指導し、本番では、児童に任せ見守る姿勢です。「導く」は、児童の成功体験や自主的な活動を称賛し、自己有用感や自己存在感を感じられるように導くことです。

そのために、学校では**児童が活動する場を積極的に設けていきたい**と思ひます。学校行事などのイベントばかりでなく、日頃の「ちょボラ活動」「委員会活動」「集会活動」等を、先生に与えられる活動から児童が少しでも自分で考え、できるところから自分の力で取り組んでいける活動へとしていきます。これまでも、運動会では『トラックに児童の姿だけがある運動会』を目指し、競技だけでなく、係活動も本番は児童に任せ、主体となって取り組み、トラックには児童の輝く姿がありました。日頃の学校生活でも、花を植える作業やゴミ拾いを自ら取り組んでくれる児童が現れてきました。卒業式では「お別れの言葉」、入学式での「歓迎の言葉」をそれぞれ代表児童が述べました。事前に担任、保護者の皆様で指導・確認していただいたと思ひますが、本番ではどちらの代表児童とも顔を上げ、**何も見ないで堂々と話している姿は、本校教育の成果の一つ**と考えています。

今年度も、児童一人一人が、輝き躍動する学校生活を送れるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。保護者の皆様、御理解・御協力をお願いいたします。